



社会福祉法人カリタスの園  
児童養護施設 小百合の寮

# 求人票

2022年4月7日現在

求人	事業所名	かりたすのその さゆりのりょう 社会福祉法人カリタスの園小百合の寮		代表者氏名	理事長 長崎 春美 施設長 鍋内 美香
	所在地	〒167-0021 東京都杉並区井草4-19-28		採用担当	施設長 鍋内 美香 総主任 成宮 三奈 電話 03-3394-2451 E-mail: sayuri_family2@c-sayuri.jp
	事業内容	第1種社会福祉事業 児童養護施設 第2種社会福祉事業 子育て短期支援事業受託			
	URL	<a href="https://m-caritas.jp/sayuri">https://m-caritas.jp/sayuri</a> 母体：イエスのカリタス修道会			
求者	事業概要	設立 昭和29年・職員数 62人（男16人・女46人）・有資格者（社会福祉士4人・児童指導員15人・保育士30人・臨床心理士3人・栄養士2人・調理師5人・看護師3人）			
	理念特徴	カトリックの精神とドン・ボスコ教育法・ボーイズタウンのコモンセンスペアレンティング®️に基づいた支援の実践 子どもたちが“愛されている”と感じられるような関係、一人ひとりが大切にされ、癒され、互いに支え合いながら成長していく家族を目指しています。 *職員の目指す姿：「笑顔と思ひやりのアシステンツァ（ドン・ボスコ教育法より）」 ～子どもに寄り添い共に歩みながら“今”の必要に応じて～			
求人内容	職種	保育スタッフ	求人数	条	社会福祉士、児童指導員、保育士（取得見込み可）のいずれか資格保持者
	雇用形態	正規職員	6人	件	
採用条件	勤務地	同上 西武新宿線 井荻駅徒歩7分	仕事内容等	対象者：2～18歳まで61名（8グループに分かれて生活） グループに所属して児童への生活・学習・自立に関する支援全般と パソコン等使用した記録・行事や係り担当業務	
	勤務時間	1日7時間半勤務 24時間対応の交代制勤務 例：7：00～16：00（～19：00） 宿直あり：月4～8回 9：30～19：00 13：00～21：00			
採用条件	休日：月8日（2月は7日） 年間95日 有給休暇：初年度10日（最高 年20日 次年度繰越可能） 他特別（慶弔）休暇あり 育児休業・介護休業等の諸制度あり				
	卒業校	2年短大・専門	3年短大・専門	大学(院)	給与に関する特記事項
採用条件	基本給	157,200円	160,000円	168,400円	・住居手当、扶養手当あり ・通勤手当（全額支給）あり ・資格手当、役職手当あり ・経験年数換算し基本給に上乘せあり ・宿直手当1回につき6,000円
	特殊業務手当	6,288円	6,400円	6,736円	
	地域手当	29,427円	29,952円	31,524円	
	宿直（4回分）	24,000円	24,000円	24,000円	
計（税込み）	216,915円	220,352円	230,660円		
賞与 年 2回 ・ 4.2か月分(前年実績)			昇給 年1回（前年実績） ※人事考課制度あり		
保険等（健康、厚生、雇用、労災、財形、その他（福利厚生として年1回の職員遠足♪他））					
宿舎の利用（可・否）			定年制（有（60歳）：継続雇用制度導入）		
応募要領	説明会	4月10日 5月22日 6月5日 7月17日 8月21日 9月25日 時間：14～16時 オンラインにて			
	応募書類	履歴書 職務経歴書（該当者のみ）書類提出先：小百合の寮へ送付（持参・メール可）			
	採用試験	5月7日 6月18日 7月17日 8月29日 時間は個別にご連絡します。			
	選考方法	1次選考：書類 2次選考：筆記（作文 自己紹介）及び面接：1次通過者に個別に連絡 最終選考：実習（3～4時間：無給）動きやすい服装（3次選考実習時） ※可能な時間を利用してアルバイトされる方は実習免除しています。			
補足事項 ・最終的な合否の連絡は実習後、14日以内に本人へ通知 ・試用期間6カ月(同条件) ・通勤方法：自転車可・自動車原則不可・バイク要相談					
最寄駅：西武新宿線 「井荻駅」より徒歩7分 最寄バス停：西武・関東バス「八成橋」より徒歩1分（荻窪駅より20分・練馬高野台駅より10分・石神井公園駅より15分）					



<小百合の寮マスコット:ハナビライオン>



<全体行事のゲーム真っ最中>



<ユニット内で料理教室>

【2020年度の事業報告総括】 ※2021年度分は現在取りまとめ中です。

コロナウイルス感染拡大に伴い、緊急事態宣言等により行動が制限される状況の中、オンラインを通じた朝礼や会議、行事等寮内での活動、及び外部研修や児童部会の委員会参加、他施設職員との情報共有等、インターネットを活用した取り組みが急激に進み、これまでと違った形であらゆることが前進する機会ともなった。また、グループホームと本園をオンラインでつなぐことで、これまで参加できなかった朝礼に職員が参加可能となり、孤立感の解消にも一役買うこととなった。

平成25年度に大きな改善を求められることとなった事故から、年数が経過すると共に成長してきた児童が思春期を迎え、当時の被害を語るできるようになり顕在化してきた。当時在籍していた児童全員にあらためて被害を確認し、施設長より謝罪を行う面接の機会を持った。同時に、在籍している児童の中には施設内虐待のあった養育環境下で暮らしてきたという背景を持っていることを十分に理解した上でアセスメントを行っていきけるよう、職員全員で当時の問題を経過とともに周知する機会を持った。二度と同様の事故を繰り返さないためにコモンセンスペアレンティングの学びと職員間のフィードバックの必要性を確認した。

新たな在り方として、グループSV（ユニット職員が一緒の機会にCSP管理者よりフィードバックを受ける方法）を学び実施し始めた。ユニット内でそれぞれの取り組みを共有する機会、管理者や管理職がユニットの情報を把握する機会としても有効な方法として期待される。

【小百合の寮 将来像】

本園を小規模グループケア6ユニット（幼児ユニット2 学童男子ユニット2 学童女子ユニット2）  
地域小規模グループホーム3ホーム（学童男子ホーム1 学童女子ホーム2）



<職員遠足の一コマ>



<事務所お別れ会の一コマ>